

社会資本総合整備計画
都市再生整備計画 事後評価シート
大田原西地区

令和2年3月

栃木県大田原市

様式2-1 評価結果のまとめ

| 都道府県名 | 栃木県 | | 市町村名 | 大田原市 | | 地区名 | 大田原西地区 | | | 面積 | 202 ha | |
|--------------------------------|------------------|----------------------------|---|--|------|---------|---|-----|-----|--|--------------|-------------|
| 交付期間 | 平成26年度～平成30年度 | | 事後評価実施時期 | 令和元年 | | 交付対象事業費 | 1146.1百万円 | 国費率 | 0.4 | | | |
| 1)事業の実施状況 | 当初計画に位置づけ、実施した事業 | 基幹事業 | 【道路】市道大田原野崎線、市道県北体育館西線、市道美原205号、市道美原309号、市道浅香205号 【地域生活基盤施設】防災備蓄倉庫 【高質空間形成施設】バリアフリー化公衆トイレ、外周路 | | | | | | | | | |
| | | 提案事業 | 【地域創造支援事業】雨水排水路整備、野球場夜間照明設置、ソフトボール球場耐震改修、プールの改修、公衆トイレ改修 | | | | | | | | | |
| | 当初計画から削除した事業 | 基幹事業 | 【道路】市道浅香205号 | 削除/追加の理由 | | | 削除/追加による目標、指標、数値目標への影響 | | | | | |
| | | 提案事業 | 【地域創造支援事業】雨水排水路整備、野球場夜間照明設置、プールの改修 | 関連事業として地方単独事業にて実施するため。 | | | 雨水排水路整備：指標1に関連するが、関連事業として、事業は継続するため、指標及び数値目標は据え置く。 野球場夜間照明設置・プールの改修：指標2・指標3に関連するが、関連事業として、事業は継続するため、指標及び数値目標は据え置く。 | | | | | |
| | 新たに追加した事業 | 基幹事業 | 【地域生活基盤施設】美原公園北第2駐車場整備 | 災害などの緊急時に車両の待機所等としての整備し、公園利用者の利便性も向上させるため。 | | | 指標3に関連するが、指標及び数値目標は据え置く。 | | | | | |
| | | 提案事業 | 【事業活用調査】都市再生整備計画事後評価事業 | - | | | - | | | | | |
| 交付期間の変更 | 当初 | 平成26年度～平成30年度 | 交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響 | | | - | | | | | | |
| 2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況 | 指標 | | 単位 | 従前値 | | 目標値 | | 数値 | | 1年以内の達成見込み | 効果発現要因(総合所見) | フォローアップ予定時期 |
| | 指標1 | 道路、歩道の満足度 | % | 基準年度 | 目標年度 | モニタリング | 評価値 | 達成度 | あり | 生活道路として利用されている市道整備を行った結果、円滑な道路空間の確保、並びに安全性・快適性が向上したことで、目標値を上回る道路・歩道の満足度となった。なお、雨水排水路整備による路面排水の改善や公衆トイレ整備・改修事業も満足度の向上に寄与したものと評価する。 | | |
| | | | | 33.4% | H25 | 50% | H30 | | | | | 57.2% |
| | 指標2 | 何らかのスポーツ・レクリエーションをしている人の割合 | % | 基準年度 | 目標年度 | モニタリング | 評価値 | 達成度 | あり | 当初計画策定時に「陸上競技場の外周路整備」「プールの改修」「野球場夜間照明設置」事業の実施を加味し目標値の設定を行った。計画変更で、「プールの改修」及び「野球場夜間照明設置」については、関連事業へと移行したが、各種事業効果を期待し、当初目標値を据え置いたものの、想定通りの伸びはなく、従前値を下回る結果となった。 | | |
| | | | | 47.2% | H25 | 60% | H30 | | | | | 43.6% |
| | 指標3 | 美原公園のイベント回数 | 回/年 | 基準年度 | 目標年度 | モニタリング | 評価値 | 達成度 | あり | 美原公園内のトイレや外周路等の施設整備をしたことで、公園内施設の利便性がさらに充実した。また、駐車場整備や地区内の道路整備をしたことにより、自動車での移動も円滑化したことが、間接的に寄与し、目標値を上回るイベント回数となった。 | | |
| 47回 | | | | H25 | 52回 | H30 | 53回 | | | | | ○ |
| 指標4 | | | | | | | | | あり | | | |
| 指標5 | | | | | | | | | あり | | | |

| | 指標 | | 単位 | 従前値 | | 目標値 | | 数 値 | | 目標達成度※1 | 1年以内の達成見込み | 効果発現要因 (総合所見) | フォローアップ 予定時期 |
|---|--------------------|--|------|------|------|-------------------------|-----|-----|--|---|------------|------------------|-----------------|
| | その他の 数値指標1 | その他の 数値指標2 | | 基準年度 | 目標年度 | モニタリング | 評価値 | | | | | | |
| 3) その他の数値指標 (当初設定した数値 目標以外の指標)に よる効果発現状況 | その他の 数値指標1 | | | | | | | | | | | | |
| | その他の 数値指標2 | | | | | | | | | | | | |
| | その他の 数値指標3 | | | | | | | | | | | | |
| 4) 定性的な効果 発現状況 | | | | | | | | | | | | | |
| 5) 実施過程の評価 | | | 実施内容 | | | 実施状況 | | | | 今後の対応方針等 | | | |
| | モニタリング | なし | | | | 都市再生整備計画に記載し、実施できた | | | | — | | | |
| | | | | | | 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した | | | | | | | |
| | | | | | | 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった | | | | | | | |
| | 住民参加 プロセス | 健幸ポイントプロジェクト | | | | 都市再生整備計画に記載し、実施できた | | | | ● ◆参加者の満足度も高く、事業を継続することで、運動する機会が増加し、健康意識の向上を図る。 | | | |
| | | | | | | 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した | | | | | | | |
| | | | | | | 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった | | | | | | | |
| | 持続的なまちづくり 体制の構築 | 道路愛護活動(※1) 道路の里親(※2) 愛りパーとちぎ(※3) | | | | 都市再生整備計画に記載し、実施できた | | | | ◆活動に関する周知を行い、継続性を高める。(※1) ◆今後も、清掃用具の配布等の支援を行う。(※2) ◆今後も地域住民と河川管理者との連絡の調整等、地域住民と河川管理者との橋渡しとしての役割を担う。(※3) | | | |
| | | | | | | 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した | | | | | | | |
| 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった | | | | | | | | | | | | | |

様式2-2 地区の概要

| 大田原西地区（栃木県大田原市）都市再生整備計画事業の成果概要 | | | | | | | | | |
|--|--|--|---------|-------|-----|-----|-----|-------|-----|
| まちづくりの目標 | | 目標を定量化する指標 | | 従前値 | | 目標値 | | 評価値 | |
| 安全・安心・快適で、いきいきと暮らせるまちづくり 目標①:日常生活の安全性を確保した快適な都市空間の創出 目標②:利便性が向上した健やかな空間の創出 | | 道路・歩道の満足度 | 単位: % | 33.4% | H25 | 50% | H30 | 57.2% | H30 |
| | | 何らかのスポーツ・レクリエーションをしている人の割合 | 単位: % | 47.2% | H25 | 60% | H30 | 43.6% | H30 |
| | | 美原公園のイベント回数 | 単位: 回/年 | 47回 | H25 | 52回 | H30 | 53回 | H30 |
| | | | 単位: | | H | | H | | H |
| | | | 単位: | | H | | H | | H |
| | | | | | | | | | |
| まちの課題の変化 | | <p>【達成されたこと(課題の改善状況)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スプロール化した地域においても道路整備が進んだことで、良好な市街地環境が整備されつつある。 ・生活道路の整備が進み、狭隘道路や歩道未整備箇所が改善され、質の高い歩行空間が確保されたことで、地区内の回遊性が生まれ、生活環境が整いつつある。 ・公衆トイレのバリアフリー化及び施設の改修により、公園施設の利便性が向上し、誰もが利用しやすくなった。 ・地域における重要な防災拠点である美原公園内の各種施設が整備されたことで、ハード面での防災機能が向上し、安全・安心が高まった。 <p>【残された未解決の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・未整備区間が残っているため、早期着手が必要である。 ・未整備の老朽化施設の改修が必要である。 ・ハード整備と併せたソフト面での防災機能強化が必要である。 | | | | | | | |
| 今後のまちづくりの方策(改善策を含む) | | <p>【効果を持続させるための基本的な考え方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民やNPOと連携した清掃活動等、住民参加の維持管理活動を行い、道路をはじめとする生活環境の維持に努める。 ・子どもから高齢者までのスポーツ・レクリエーション活動の支援やスポーツイベントを開催し、利用施設への愛着を高めることで、施設の維持管理に対する住民意識を向上させる。 <p>【改善策の基本的な考え方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・未整備区間の道路整備優先順位を明確にし、早期着手・完了を図る。 ・バリアフリー化及び老朽化改修未整備施設の整備優先順位を明確にし、早期着手・完了を図る。 ・防災訓練の実施やハザードマップの更新を行い、市民の防災意識を高めることで、ソフト面での防災機能向上を促進する。 | | | | | | | |

都市再生整備計画 事後評価シート (添付書類)

(1) 成果の評価

- 添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無
- 添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(完成状況)
- 添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況
- 添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)により計測される効果発現の計測
- 添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

(2) 実施過程の評価

- 添付様式3-① モニタリングの実施状況
- 添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況
- 添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

(3) 効果発現要因の整理

- 添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制
- 添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理
- 添付様式4-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

(4) 今後のまちづくり方策の作成

- 添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制
- 添付様式5-② まちの課題の変化
- 添付様式5-③ 今後のまちづくり方策
- 添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見
- 添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画
- 添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方
- 添付様式6-参考記述 今後、都市再生整備計画事業の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

(5) 事後評価原案の公表

- 添付様式7 事後評価原案の公表

(6) 評価委員会の審議

- 添付様式8 評価委員会の審議

(7) 有識者からの意見聴取

- 添付様式9 有識者からの意見聴取

(1) 成果の評価

添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無

| なし | 変更 | | 変更前 | 変更後 | 変更理由 |
|---------------|----|----|-----|-----|------|
| | あり | なし | | | |
| A. まちづくりの目標 | | ● | | | |
| B. 目標を定量化する指標 | | ● | | | |
| C. 目標値 | | ● | | | |
| D. その他() | | ● | | | |

添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

| 基幹事業 | | | | | | | | | |
|----------------|------------------------|------|--------------|--------|--------------------|---|--|------------|-------|
| 事業 | 事業箇所名 | 当初計画 | | 最終変更計画 | | 当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む) | 都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響 | 事後評価時の完成状況 | |
| | | 事業費 | 事業内容 | 事業費 | 事業内容 | | | 完成 | 完成見込み |
| 道路 | 市道大田原野崎線 | 700 | L=400m | 702.2 | L=400m | 第3回変更で、接続する交差点の影響範囲の見直し等により、事業費を変更した。 | 指標1・指標2に関連するが、事業費の変更のみの為、指標及び数値目標は据え置く。 | ● | |
| | 市道県北体育館西線 | 290 | L=540m | 172.5 | L=540m | 第1回変更で、H28年度以降の事業を他計画(防災・安全交付金)へ移行することとしたため、事業期間を短縮し、事業費を減額した。 | 指標1・指標2に関連するが、事業移行後も他計画(防災・安全交付金)として事業を継続するため、指標及び数値目標は据え置く。 | ● | |
| | 市道美原205号 | 320 | L=550m | 35.2 | L=550m | 第1回変更で、H28年度以降の事業を他計画(防災・安全交付金)へ移行することとしたため、事業期間を短縮し、事業費を減額した。 | 指標1・指標2に関連するが、事業移行後も他計画(防災・安全交付金)として事業を継続するため、指標及び数値目標は据え置く。 | ● | |
| | 市道美原309号 | 25 | L=110m | 26.3 | L=110m | 事業が完了し、事業費確定に伴い増額した。 | 影響なし | ● | |
| | 市道浅香205号 | 106 | L=490m | 0 | - | 第1回変更で、事業を他計画(関連事業)へ移行した。 | 指標1・指標2に関連するが、他計画(関連事業)として事業を継続するため、指標及び数値目標は据え置く。 | - | - |
| 地域生活基盤施設 | 防災備蓄倉庫及び非常用電源施設(照明付)設置 | 15 | N=1箇所 | 36.5 | 倉庫1棟 非常用電源施設11基 | 第3回変更で、防災備蓄倉庫の構造を耐震性の高いものへと変更し、停電時の避難者誘導のため太陽光パネル付の非常用電源施設(照明付)を設置したため事業費を増額した。 | 指標2・指標3に関連するが、指標及び数値目標は据え置く。 | ● | |
| | 美原公園北第2駐車場整備 | 0 | - | 6.3 | A=3.200㎡ | 第3回変更で、災害などの緊急時に車両の待機所等として整備する為、事業を追加した。 | 指標3に関連するが、指標及び数値目標は据え置く。 | ● | |
| 高質空間形成施設 | バリアフリー化公衆トイレ、外周路 | 118 | N=3箇所、L=220m | 100.8 | N=2箇所、L=220m | 第1回変更で、バリアフリー化公衆トイレの新築について、事業期間に完了ができなため、事業量を減少し、事業費を減額した。 | 指標2・指標3に関連するが、指標及び数値目標は据え置く。 | ● | |
| 高次都市施設 | | | | | | | | | |
| 既存建造物活用事業 | | | | | | | | | |
| 都市再生交通拠点整備事業 | | | | | | | | | |
| 土地区画整理事業(都市再生) | | | | | | | | | |

※1: 事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

| 基幹事業 | | | | | | | | | |
|--------------|-------|------|------|--------|------|--------------------------------------|---|------------|-------|
| 事業 | 事業箇所名 | 当初計画 | | 最終変更計画 | | 当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む) | 都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響 | 事後評価時の完成状況 | |
| | | 事業費 | 事業内容 | 事業費 | 事業内容 | | | 完成 | 完成見込み |
| 地区再開発事業 | | | | | | | | | |
| バリアフリー環境整備事業 | | | | | | | | | |
| 優良建築物等整備事業 | | | | | | | | | |
| 住宅市街地総合整備事業 | | | | | | | | | |
| 街なみ環境整備事業 | | | | | | | | | |
| 住宅地区改良事業等 | | | | | | | | | |
| 都心共同住宅供給事業 | | | | | | | | | |
| 公営住宅等整備 | | | | | | | | | |
| 都市再生住宅等整備 | | | | | | | | | |
| 防災街区整備事業 | | | | | | | | | |

※1:事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

| 提案事業 | | | | | | | | | |
|-----------------|------------------|------|---------|--------|--------|--|---|------------|-------|
| 事業 | 細項目 | 当初計画 | | 最終変更計画 | | 当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む) | 都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響 | 事後評価時の完成状況 | |
| | | 事業費 | 事業内容 | 事業費 | 事業内容 | | | 完成 | 完成見込み |
| 地域創造 支援事業 | 雨水排水路整備 | 120 | L=400m | 0 | - | 第1回変更で、流末の水路と調整が整わず、排水経路の変更となるため、事業を削除し、関連事業(地方単独事業)に移行した。 | 指標1に関連するが、関連事業として、事業は継続するため、指標及び数値目標は据え置く。 | | |
| | 野球場夜間照明設置 | 90 | N=6基 | 0 | - | 第1回変更で、関連事業(地方単独事業)に移行した。 | 指標2・指標3に関連するが、関連事業として、事業は継続するため、指標及び数値目標は据え置く | | |
| | ソフトボール球場(耐震)改修 | 54 | A=576㎡ | 55.5 | A=576㎡ | 事業が完了し、事業費確定に伴い増額した。 | 影響なし | | |
| | プール改修 | 92 | A=2000㎡ | 0 | - | 第1回変更で、関連事業(地方単独事業)に移行した。 | 指標2・指標3に関連するが、関連事業として、事業は継続するため、指標及び数値目標は据え置く | | |
| | 公衆トイレ改修 | 6 | N=1箇所 | 6.6 | N=1箇所 | 事業が完了し、事業費確定に伴い増額した。 | 影響なし | | |
| 事業活用調査 | 都市再生整備計画事業事後評価事業 | 0 | - | 4.2 | - | - | 影響なし | | |
| まちづくり 活動推進事業 | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |

※1:事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

| (参考)関連事業 | | | | | | | | | |
|-----------|-----|-----------|------|--------|------|---------------|--------------------|----|--|
| 事業 | 細項目 | 事業箇所名 | 事業費 | | 事業期間 | | 進捗状況及び所見 | 備考 | |
| | | | 当初計画 | 最終変更計画 | 当初計画 | 最終変更計画 | | | |
| 市道県北体育館西線 | | 美原3丁目 | - | 311 | - | 平成28年度～平成30年度 | 事業完了 | | |
| 市道美原205号 | | 美原3丁目 | - | 660 | - | 平成28年度～平成32年度 | 令和2年完成予定 | | |
| 市道浅香205号 | | 浅香2丁目 | - | 106 | - | - | 利用状況に応じて柔軟に事業を進行する | | |
| 雨水排水路整備 | | 美原3丁目、加治屋 | - | 220 | - | 平成28年度～平成29年度 | 事業完了 | | |
| 野球場夜間照明設置 | | 美原公園 | - | 90 | - | - | 利用状況に応じて柔軟に事業を進行する | | |
| プール改修 | | 美原公園 | - | 92 | - | - | 利用状況に応じて柔軟に事業を進行する | | |

添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況

| 指標 | 単位 | データの計測手法と評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、対象、具体手法等) | (参考)※1 計画以前の値 (ア) | | 従前値 (イ) | | 目標値 (ウ) | | 数値(エ) | | | 目標達成度※2 | | 1年以内の 達成見込みの 有無 | | |
|-----|----------------------------|---|--|--|------------|-------|------------|-------|-------|--------|------|---------|--------|-----------------------|--|--|
| | | | 基準 年度 | | 基準 年度 | | 目標 年度 | | | | | | あり | なし | | |
| 指標1 | 道路・歩道の満足度 | % | 大田原西地区を対象としたアンケート調査(地区内全世帯2,639世帯)を実施し、[2-1:道路の安全性について]と[2-3:歩道の安全性について]という設問に対し、それぞれ5段階評価のうち、「1.満足している」、「2.まあ満足している」と回答した合計値の全体に対する割合を評価値とする。 | | | 33.4% | H25 | 50.0% | H30 | モニタリング | | | モニタリング | | | |
| | | | | | | | | | | 事後評価 | 確定 ● | 57.2% | 事後評価 | ○ | | |
| 指標2 | 何らかのスポーツ・レクリエーションをしている人の割合 | % | 大田原西地区を対象としたアンケート調査(地区内全世帯2,639世帯)を実施し、「3.健康づくりにについてお伺いします」という設問のうち、「3-1:現在、あなたは何らかのスポーツ・レクリエーション活動をしていますか。」という設問に対し、「1.はい」と回答した方の全体に対する割合を評価値とする。 | | | 47.2% | H25 | 60.0% | H30 | モニタリング | | | モニタリング | | | |
| | | | | | | | | | | 事後評価 | 確定 ● | 43.6% | 事後評価 | × | | |
| 指標3 | 美原公園のイベント回数 | 回/年 | 市スポーツ振興課所有データのうち、平成30年度に美原公園内で実施した「スポーツ大会」と「スポーツ教室」のイベント開催数の合計値を評価値とする。 | | | 47回 | H25 | 52回 | H30 | モニタリング | | | モニタリング | | | |
| | | | | | | | | | | 事後評価 | 確定 ● | 53回 | 事後評価 | ○ | | |

| 指標 | 目標達成度○△×の理由 (達成見込み「あり」とした場合、その理由も含む) | その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題等) |
|-----|---|--|
| 指標1 | 令和元年度のアンケート調査より、道路・歩道の満足度を計測したところ、目標値を上回る結果が得られたため、目標達成度を「○」とした。 | |
| 指標2 | 令和元年度のアンケート調査により、何らかのスポーツ・レクリエーションをしている人の割合を計測したところ、従前値よりも数値が下回り、目標達成に至らなかったため、目標達成度を「×」とし、また1年以内に達成することも考えにくいと判断し、達成見込みを「なし」とした。 | 以下の期間において美原公園内で改修工事を実施しており施設休止期間となっていた為、スポーツ・レクリエーションおよびイベント開催ができない期間が要因と考えられる。 美原公園第2球場:平成29年1月19日～3月24日 美原公園陸上競技場:平成30年1月4日～3月23日、平成31年2月11日～3月25日 県北体育館:平成30年11月26日～平成31年8月31日 |
| 指標3 | 美原公園のイベント回数を計測したところ、目標値を上回る結果が得られたため、目標達成度を「○」とした。 | |

※1 計画以前の値とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

※2 目標達成度の記入方法

○:評価値が目標値を上回った場合

△:評価値が目標値には達していないものの、近年の傾向よりは改善していると認められる場合

×:評価値が目標値に達しておらず、かつ近年の傾向よりも改善がみられない場合

添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現の計測

| 指 標 | 単位 | データの計測手法と 評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、 対象、具体手法等) | (参考)※1 計画以前の値 (ア) | | 従前値 (イ) | | 数値(ウ) | | | 本指標を取り上げる理由 | その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題 等) |
|---------------|----|---|-------------------------|--|------------|--|--------|------|-----|-------------|--------------------------------|
| | | | 基準 年度 | | 基準 年度 | | モニタリング | 事後評価 | 見込み | | |
| その他の 数値指標1 | | | | | | | モニタリング | | | | |
| | | | | | | | 事後評価 | 確定 | 見込み | | |
| その他の 数値指標2 | | | | | | | モニタリング | | | | |
| | | | | | | | 事後評価 | 確定 | 見込み | | |
| その他の 数値指標3 | | | | | | | モニタリング | | | | |
| | | | | | | | 事後評価 | 確定 | 見込み | | |

※1 計画以前の値 とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

(2) 実施過程の評価

・本様式は、都市再生整備計画への記載の有無に関わらず、実施した事実がある場合には必ず記載すること。

添付様式3-① モニタリングの実施状況

| 都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容 | 実施状況 | 実施頻度・実施時期・実施結果 | 今後の対応方針等 |
|---------------------------------|-----------------------|----------------|----------|
| なし | 予定どおり実施した | | |
| | 予定はなかったが実施した | | |
| | 予定したが実施できなかった (理由) | | |
| - | 予定どおり実施した | | |
| | 予定はなかったが実施した | | |
| | 予定したが実施できなかった (理由) | | |

添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況

| 都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容 | 実施状況 | 実施頻度・実施時期・実施結果 | 今後の対応方針等 |
|---------------------------------|-----------------------|--|--|
| 健幸ポイントプロジェクト | 予定どおり実施した | ◆市民の方に「健幸づくり」へ興味を持ってもらい、運動習慣を広めることで市民一人一人の健康寿命の延伸を目指す事業。 ◆20歳以上の市民、市内の事業所に勤務している方を対象に以下の教室等を開催。 ・活き活き健幸運動教室 全8回開催 ・チャレンジ！ニュースポーツ 全3回開催 ・セリエ流・ハードトレーニング講座 全4回開催 ・健幸太極拳・本格演武 全6回開催 ・健幸運動教室・ペットボトル筋トレ 全5回開催 | 参加者の満足度も高く、事業を継続することで、運動する機会が増加し、健康意識の向上を図る。 |
| | 予定はなかったが実施した ● | | |
| | 予定したが実施できなかった (理由) | | |
| - | 予定どおり実施した | | |
| | 予定はなかったが実施した | | |
| | 予定したが実施できなかった (理由) | | |

添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

| 都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容 | 構築状況 | 実施頻度・実施時期・実施結果 | | 今後の対応方針等 |
|---------------------------------|-----------------------|--|--------------------|---|
| | | i. 体制構築に向けた取組内容 | ii. まちづくり組織名:組織の概要 | |
| 道路愛護活動 | 予定どおり実施した | 毎年8月1日から8月31日までの1か月間を「道路ふれあい月間」として、道路を常に広く、美しく、安全に利用する気運を高めることを目的として、草刈等の活動を行っている。 | 道路愛護活動 | 活動に関する周知を行い、継続性を高める。 |
| | 予定はなかったが実施した ● | | | |
| | 予定したが実施できなかった (理由) | | | |
| 道路の里親 | 予定どおり実施した | 「道路の里親」制度を取り入れ、里親の方に対し、清掃用具の配布、傷害保険の加入等の支援をし、地域住民と協働で道路の清掃を行っている。 | 道路の里親 | 今後も、清掃用具の配布等の支援を行う。 |
| | 予定はなかったが実施した ● | | | |
| | 予定したが実施できなかった (理由) | | | |
| 愛りバーとちぎ | 予定どおり実施した | 地域住民等、ボランティア団体と市町村、河川管理者の三者が一体となって、連携・協力し、河川環境の向上を図る。 | 愛りバーとちぎ | 今後も地域住民と河川管理者との連絡の調整等、地域住民と河川管理者との橋渡しとしての役割を担う。 |
| | 予定はなかったが実施した ● | | | |
| | 予定したが実施できなかった (理由) | | | |

(3) 効果発現要因の整理

添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制

| 名称等 | 検討メンバー | 実施時期 | 担当部署 |
|------------------------|-------------------------|------------|-------------|
| 大田原西地区 都市再生整備計画 庁内検討会議 | 都市計画課、スポーツ振興課、道路課、危機管理課 | 令和元年11月25日 | 都市計画課 都市施設係 |

添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理

| 指標の種類 | | 指標1 | | 指標3 | | | | | |
|-------|------------------------|-----------|---|-------------|--|-----------|------|-----------|------|
| 指標名 | | 道路・歩道の満足度 | | 美原公園のイベント回数 | | | | | |
| 種別 | 事業名・箇所名 | 指標改善への貢献度 | 総合所見 | 指標改善への貢献度 | 総合所見 | 指標改善への貢献度 | 総合所見 | 指標改善への貢献度 | 総合所見 |
| 基幹事業 | 市道大田原野崎線 | ◎ | 生活道路として利用されている市道整備を行った結果、円滑な道路空間の確保、並びに安全性・快適性が向上したことで、目標値を上回る道路・歩道の満足度となった。 なお、雨水排水路整備による路面排水の改善や公衆トイレ整備・改修事業も満足度の向上に寄与したものと評価する。 | ○ | 美原公園内のトイレや外周路等の施設整備をしたことで、公園内施設の利便性がさらに充実した。また、駐車場整備や地区内の区間で道路整備をしたことにより、自動車での移動も円滑化したことが、間接的に寄与し、目標値を上回るイベント回数となった。 | | | | |
| | 市道県北体育館西線 | ◎ | | ○ | | | | | |
| | 市道美原205号 | ◎ | | ○ | | | | | |
| | 市道美原309号 | ◎ | | ○ | | | | | |
| | 防災備蓄倉庫及び非常用電源施設(照明付)設置 | ○ | | ○ | | | | | |
| | 美原公園北第2駐車場整備 | ○ | | ◎ | | | | | |
| | バリアフリー化公衆トイレ、外周路 | ○ | | ◎ | | | | | |
| 提案事業 | ソフトボール球場改修 | - | | ◎ | | | | | |
| | 公衆トイレ改修 | ○ | | ◎ | | | | | |
| | 都市再生整備計画事後評価事業 | - | | - | | | | | |
| 関連事業 | 市道県北体育館西線 | ◎ | | ○ | | | | | |
| | 市道美原205号 | ◎ | | ○ | | | | | |
| | 市道浅香205号 | △ | | △ | | | | | |
| | 雨水排水路整備 | ◎ | | - | | | | | |
| | 野球場夜間照明設置 | - | | △ | | | | | |
| | プール改修 | - | | △ | | | | | |

※指標改善への貢献度

- ◎：事業が効果を発揮し、指標の改善に直接的に貢献した。
- ：事業が効果を発揮し、指標の改善に間接的に貢献した。
- △：事業が効果を発揮することを期待したが、指標の改善に貢献しなかった。
- ：事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

| | | | | |
|-------|---|---|--|--|
| 今後の活用 | アンケートの調査結果を精査し市民の意向を取り入れ、また関係機関等と協議をし、更なる利便性や安全性の確保を図る。 | 健康長寿都市として、「市民一人1スポーツ」のスローガンに基づく実践を促進していくために、高齢者でも気軽に参加できるようなスポーツ教室等を更に充実することで、地域の交流及び賑わいの創出を図る。 | | |
|-------|---|---|--|--|

添付様式4-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

| 指標の種別 | | 指標2 | | | | | | | | | | | |
|-------|------------------------|----------------------------|---|-------|------------|------|-------|------------|------|-------|------------|------|-------|
| 指標名 | | 何らかのスポーツ・レクリエーションをしている人の割合 | | | | | | | | | | | |
| 種別 | 事業名・箇所名 | 目標未達成への影響度 | 総合所見 | 要因の分類 | 目標未達成への影響度 | 総合所見 | 要因の分類 | 目標未達成への影響度 | 総合所見 | 要因の分類 | 目標未達成への影響度 | 総合所見 | 要因の分類 |
| 基幹事業 | 市道大田原野崎線 | - | 当初計画策定時に「陸上競技場の外周路整備」「プールの改修」「野球場夜間照明設置」事業の実施を加味し目標値の設定を行った。計画変更で、「プール改修」及び「野球場夜間照明設置」については、関連事業へと移行したが、各種事業効果を期待し、当初目標値を据え置いたものの、想定通りの伸びはなく、従前値を下回る結果となった。 | Ⅲ | | | | | | | | | |
| | 市道県北体育館西線 | - | | | | | | | | | | | |
| | 市道美原205号 | - | | | | | | | | | | | |
| | 市道美原309号 | - | | | | | | | | | | | |
| | 防災備蓄倉庫及び非常用電源施設(照明付)設置 | △ | | | | | | | | | | | |
| | 美原公園北第2駐車場整備 | △ | | | | | | | | | | | |
| | バリアフリー化公衆トイレ、外周路 | △ | | | | | | | | | | | |
| 提案事業 | ソフトボール球場改修 | △ | | | | | | | | | | | |
| | 公衆トイレ改修 | △ | | | | | | | | | | | |
| | 都市再生整備計画事後評価事業 | - | | | | | | | | | | | |
| 関連事業 | 市道県北体育館西線 | - | | | | | | | | | | | |
| | 市道美原205号 | - | | | | | | | | | | | |
| | 市道浅香205号 | - | | | | | | | | | | | |
| | 雨水排水路整備 | - | | | | | | | | | | | |
| | 野球場夜間照明設置 | ×× | | | | | | | | | | | |
| | プール改修 | ×× | | | | | | | | | | | |

※目標未達成への影響度
 ××：事業が効果を発揮せず、指標の目標未達成の直接的な原因となった。
 ×：事業が効果を発揮せず、指標の目標未達成の間接的な原因となった。
 △：数値目標が達成できなかった中でも、ある程度の効果をあげたと思われる。
 -：事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

※要因の分類
 分類Ⅰ：内的な要因で、予見が可能な要因。
 分類Ⅱ：外的な要因で、予見が可能な要因。
 分類Ⅲ：外的な要因で、予見が不可能な要因。
 分類Ⅳ：内的な要因で、予見が不可能な要因。

| | |
|------------------|---|
| 改善の方針 (記入は必須) | 予定している事業に早期着手し、関係課と連携してイベント及びスポーツ教室を更に活発に実施するとともにそのPRを強化することで、何らかのスポーツ・レクリエーションをしている人の割合を向上させ、健康寿命の延伸を図る。 |
|------------------|---|

(4) 今後のまちづくり方策の作成

添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制

| 名称等 | 検討メンバー | 実施時期 | 担当部署 |
|--------------------------|-------------------------|------------|-------------|
| 大田原西地区 都市再生整備計画事業 庁内検討会議 | 都市計画課、スポーツ振興課、道路課、危機管理課 | 令和元年11月25日 | 都市計画課 都市施設係 |

添付様式5-② まちの課題の変化

| 事業前の課題 都市再生整備計画に記載 したまちの課題 | 達成されたこと(課題の改善状況) | 残された未解決の課題 | 事業によって発生した 新たな課題 |
|---|--|---|---|
| 無秩序な宅地造成に伴う道路整備の遅れ、狭隘道路や歩道未整備箇所があることから、安心して暮らせる生活環境の整備が求められている。 | ・スプロール化した地域においても道路整備が進んだことで、良好な市街地環境が整備されつつある。 ・生活道路の整備が進み、狭隘道路や歩道未整備箇所が改善され、質の高い歩行空間が確保されたことで、地区内の回遊性が生まれ、生活環境が整いつつある。 | ・未整備区間が残っているため、早期着手が必要である。 | ・道路整備が進み自動車等交通量が増加することで、通学路等歩行者空間での安全性が危惧される。 |
| バリアフリー未対応や老朽化した施設が多くなっていることから、誰もが安心して円滑に利用できる施設整備が求められている。 | ・公衆トイレのバリアフリー化及び施設の改修により、公園施設の利便性が向上し、誰もが利用しやすくなった。 ・地域における重要な防災拠点である美原公園内の各種施設が整備されたことで、ハード面での防災機能が向上し、安全・安心が高まった。 | ・未整備の老朽化施設の改修が必要である。 ・ハード整備と併せたソフト面での防災機能強化が必要である。 | |
| | | | |

これを受けて、成果の持続にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③A欄に記入します。

これを受けて、改善策にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③B欄に記入します。

添付様式5-③ 今後のまちづくり方策

| A欄 効果を持続させるため に行う方策 | 効果の持続を図る事項 | 効果を持続させるための基本的な考え方 | 想定される事業 |
|---------------------------|------------------------|--|---|
| | 整いつつある良好な生活環境の維持 | ・地域住民やNPOと連携した清掃活動等、住民参加の維持管理活動を行い、道路をはじめとする生活環境の維持に努める。 | ・景観維持のため、花いっぱい運動を活用した花植えや道路の愛護活動による清掃活動 ・道路整備とともにグリーンインフラの整備事業 |
| | バリアフリー化及び改修が進んだ施設の維持管理 | ・子どもから高齢者までのスポーツ・レクリエーション活動の支援やスポーツイベントを開催し、利用施設への愛着を高めることで、施設の維持管理に対する住民意識を向上させる。 | ・公共施設等総合管理計画による施設修繕の実施 |

| B欄 改善策 | 改善する事項 | 改善策の基本的な考え方 | 想定される事業 |
|-----------|-----------------|--|--------------|
| | 未整備区間の道路整備の早期着手 | ・未整備区間の道路整備優先順位を明確にし、早期着手・完了を図る。 | ・道路整備 |
| | 未整備の老朽化施設の改修 | ・バリアフリー化及び老朽化改修未整備施設の整備優先順位を明確にし、早期着手・完了を図る。 | ・国体に向けての施設改修 |

| | | | |
|---|--------------|--|-------------------------------------|
| ・未達成の目標を達成するための改善策 ・未解決の課題を解消するための改善策 ・新たに発生した課題に対する改善策 | ソフト面での防災機能強化 | ・防災訓練の実施やハザードマップの更新を行い、市民の防災意識を高めることで、ソフト面での防災機能向上を促進する。 | ・防災訓練の実施及び自主防災組織の活性化 ・ハザードマップの更新 |
|---|--------------|--|-------------------------------------|

フォローアップ又は次期計画等において実施する改善策を記入します。

なるべく具体的に記入して下さい。

■様式5-③の記入にあたっては、下記の事項を再確認して、これらの検討結果を踏まえて記載して下さい。(チェック欄)

| | |
|--------------------------|---|
| <input type="checkbox"/> | 交付金を活用するきっかけとなったまちづくりの課題(都市再生整備計画)を再確認した。 |
| <input type="checkbox"/> | 事業の実施過程の評価(添付様式3)を再確認した。 |
| <input type="checkbox"/> | 数値目標を達成した指標にかかる効果の持続・活用(添付様式4-②)を再確認した。 |
| <input type="checkbox"/> | 数値目標を達成できなかった指標にかかる改善の方針(添付様式4-③)を再確認した。 |
| <input type="checkbox"/> | 残された課題や新たな課題(添付様式5-②)を再確認した。 |

添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見

添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画

- ・フォローアップの要否に関わらず、添付様式2-①、2-②に記載した全ての指標について記入して下さい。
- ・従前値、目標値、評価値、達成度、1年以内の達成見込みは添付様式2-①、2-②から転記して下さい。

- ・評価値が「見込み」の全ての指標、目標達成度が△又は×の指標、1年以内の達成見込み「あり」の指標について、確定値を求めるためのフォローアップ計画を記入して下さい。

| 指標 | | 単位 | 従前値 | | 目標値 | | 評価値 | | 目標達成度 | 1年以内の達成見込みの有無 | フォローアップ計画 | | |
|-----------|----------------------------|-----|-------|-----|-----|-----|------|-------|-------|---------------|-----------|------|---------|
| | | | 年度 | 年度 | 年度 | 年度 | 確定 | 見込み | | | 予定時期 | 計測方法 | その他特記事項 |
| 指標1 | 道路・歩道の満足度 | % | 33.4% | H25 | 50% | H30 | 確定 ● | 57.2% | ○ | あり | → | | |
| | | | | | | | 見込み | | | なし | | | |
| 指標2 | 何らかのスポーツ・レクリエーションをしている人の割合 | % | 47.2% | H25 | 60% | H30 | 確定 ● | 43.6% | × | あり | → | | |
| | | | | | | | 見込み | | | なし ● | | | |
| 指標3 | 美原公園のイベント回数 | 回/年 | 47回 | H25 | 52回 | H30 | 確定 ● | 53回 | ○ | あり | → | | |
| | | | | | | | 見込み | | | なし | | | |
| 指標4 | | | | H | | H | 確定 | | | あり | → | | |
| | | | | | | | 見込み | | | なし | | | |
| 指標5 | | | | H | | H | 確定 | | | あり | → | | |
| | | | | | | | 見込み | | | なし | | | |
| その他の数値指標1 | | | | H | | | 確定 | | | | → | | |
| | | | | H | | | 見込み | | | | → | | |
| その他の数値指標2 | | | | H | | | 確定 | | | | → | | |
| | | | | H | | | 見込み | | | | → | | |
| その他の数値指標3 | | | | H | | | 確定 | | | | → | | |
| | | | | H | | | 見込み | | | | → | | |

添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方

・下表の点について、特筆すべき事項を記入します。

| 項目 | | 要因分析 | 次期計画や他地区への活かし方 |
|--------------------------|------------|---|---|
| 数値目標 ・成果の達成 | うまくいった点 | | ・指標計測時期に、計測への影響の有無を十分に確認した上で、指標及びその計測時期を決定する。 |
| | うまくいかなかった点 | ・指標2:何らかのスポーツ・レクリエーションをしている人の割合及び指標③美原公園でのイベント回数は、美原公園での改修工事で使用中止の期間があったため、スポーツ等の実施やイベントの開催が制限されたことにより、数値目標の達成度に影響した。 | |
| 数値目標と 目標・事業との 整合性等 | うまくいった点 | | ・当初計画事業が、他計画等に移行する際は、数値目標と目標・事業との整合性・関連性を十分に見極め、必要に応じて数値目標を変更する等の検討を行う。 |
| | うまくいかなかった点 | ・計画変更により他計画及び関連事業へ移行した事業の内、複数の事業が都市再生整備計画実施期間に完了せず、数値目標と目標・事業との整合性・関連性に影響した。 | |
| 住民参加 ・情報公開 | うまくいった点 | ・住民参加プロセスとして実施した「健幸ポイントプロジェクト」は、参加者の運動する機会を増加させ健康意識の向上を図ることを目的としており、本事業を活用することにより参加者の増加に寄与した。 | ・事業に付随したプロジェクトを実施することは、活発な住民参加に有効である。 |
| | うまくいかなかった点 | | |
| PDCAによる事業 ・評価の進め方 | うまくいった点 | ・美原公園のイベント回数は、年度ごとに集計しており、今後も引き続き定量的に把握することで、継続して評価に用いることができる | ・計測を引き続き行っていくことは、PDCAの考え方にとって非常に有効である。 |
| | うまくいかなかった点 | | |
| その他 | うまくいった点 | | |
| | うまくいかなかった点 | | |

添付様式6－参考記述 今後、都市再生整備計画の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

なし

(5) 事後評価原案の公表

添付様式7 事後評価原案の公表

| 公表方法 | 具体的方法 | 公表期間・公表日 | 意見受付期間 | 意見の受付方法 | 担当部署 |
|--------------|---------------------------|----------------------|----------------------|---|------------|
| インターネット | 市のホームページに記載 | 令和元年12月10日～令和2年1月10日 | 令和元年12月10日～令和2年1月10日 | パブリックコメント(意見公募手続き)にて実施、郵送、ファクシミリ送信、電子メール及び市役所都市計画課窓口へ直接持参 | 都市計画課都市施設係 |
| 広報掲載・回覧・個別配布 | 広報に市のホームページで原案を公表している旨を掲載 | 広報おおたわら12月1日号 | 令和元年12月10日～令和2年1月10日 | | |
| 説明会・ワークショップ | — | — | — | | |
| その他 | 都市計画課窓口における閲覧 | 令和元年12月10日～令和2年1月10日 | 令和元年12月10日～令和2年1月10日 | | |

| | | | | | |
|-------|------|--|--|--|--|
| 住民の意見 | 特になし | | | | |
|-------|------|--|--|--|--|

(6) 評価委員会の審議

添付様式8 評価委員会の審議

| 委員構成 | | 実施時期 | 担当部署 | 委員会の設置根拠 | 委員会の母体組織 |
|-----------|---------------------------------------|-----------|------------|---------------------------|----------|
| 学識経験のある委員 | 宇都宮大学 地域デザイン科学部社会基盤デザイン学科 教授 大森 宣暁 | 令和2年1月31日 | 都市計画課都市施設係 | 大田原市社会資本総合整備計画事業評価委員会運営要綱 | 独自に設置 |
| その他の委員 | 関係自治会長及び交通指導員連絡協議会長 | | | | |

| 審議事項※1 | | 委員会の意見 |
|----------------|--|---|
| 事後評価手続き等にかかる審議 | 方法書 | ・方法書に従って、事後評価が適正に実施されたことが確認された。 |
| | 成果の評価 | ・目標の達成度に関する評価は問題ないことが確認された。 ・目標値を達成しなかった「指標2: 何らかのスポーツ・レクリエーションをしている人の割合」について、その理由を確認する意見があった。 →実施工事による影響も一つの要因と考えられるため、今後も「市民一人1スポーツ」のスローガンの下で実践していく工夫を進めていく |
| | 実施過程の評価 | ・特になし |
| | 効果発現要因の整理 | ・「指標1 道路・歩道の満足度」に関して、市道美原205号は車道空間は確保されたが、一部歩道の整備と信号機の設置が追い付いておらず、車速は早くなり危険度が高まったと感じるとの意見があったが、今後のまちづくり方策の中で対応を実施する。 |
| | 事後評価原案の公表の妥当性 | ・事後評価原案の公表方法については、特に意見もなかったことから妥当に行われたと認められた。 |
| | その他 | ・特になし |
| | 事後評価の手続きは妥当に進められたか、委員会の確認 | ・特に意見もなかったことから、事後評価の手続きは妥当であると認められた。 |
| 今後のまちづくりについて審議 | 今後のまちづくり方策の作成 | ・市道美原205号の歩道未整備の箇所やソフトボール球場周辺道路の線形改良等を検討していただきたいとの意見があった。 →ハード面での整備は現実的に厳しいため、スピードの抑制を図る方法の検討等ソフト面で対応していくとのことと理解を得た。 ・道路整備をした路線のうち、通学路に指定されている区間について信号機の早期設置を求める意見があった。 |
| | フォローアップ | ・特になし |
| | その他 | ・委員長より、今回整備したことをきっかけに、さらに安全・安心なまちづくりに繋げていただけると良いと思うとの意見があった。 |
| | 今後のまちづくり方策は妥当か、委員会の確認 | ・今後のまちづくり方策は妥当であると認められた。 |
| その他 | ・陸上競技場の周辺と整備された道路を併せて、総合的にウォーキングエリアを設定するなど、移動及び健康増進を兼ねられる計画として提案してみてもどうかとの意見があった。 →ウォーキングマップの更新予定を確認し、内容について今回の意見を反映し、再検討する旨回答した。 | |

※1 審議事項の詳細は「評価委員会チェックシート」を参考にしてください。